

看護学講座 基盤看護学

1. 領域構成教職員・在職期間

教授	長谷川 智子	平成10年6月ー（平成19年11月ー現職）
教授	上原 佳子	平成15年4月ー（令和3年4月ー現職）
准教授	本田 信治	平成24年4月ー平成28年3月、平成28年4月ー令和5年3月、（令和5年4月ー現職）
講師	北野 華奈恵	平成20年4月ー（平成30年4月ー現職）
講師	磯波 利圭	平成21年4月ー（令和3年4月ー現職）
助教	出村 佳美	平成25年4月ー
助教	小林 美貴	令和5年4月ー

2. 研究概要

研究概要

基盤看護学分野は、基盤看護学と生命基礎科学の2領域で構成されている。

基盤看護学の研究としては、看護の対象である人間を総合的に捉えることを基盤として、(1)エンドオブライフにおける看護研究、(2)セルフマネジメント教育ニーズのアセスメント・看護診断・看護介入の研究、(3)専門職のマネジメント(看護管理)に関する研究、(4)タクティールマッサージの効果の検証、(5)COPD患者の家族支援に関する研究、(6)誤嚥性肺炎予防のための口腔ケアの研究を行っている。

そのうち、長期的なタクティールマッサージによるストレス緩和およびQOL向上効果の検証(基盤研究(C))は、医学系部門行動科学領域と共同で研究を実施している。また、慢性疾患患者の意思決定行動を含むセルフマネジメントと効果的看護介入方法の構築(基盤研究(C))、COPD患者のセルフマネジメント能力を支援する家族支援プログラムの検証(基盤研究(C))、高齢のCOPD患者の誤嚥性肺炎予防に向けた口腔セルフケア教育プログラムの検証(基盤研究(C))を継続して実施している。また、本年度より、タクティールケアを活用した高齢者の睡眠セルフマネジメント支援プログラムの構築(基盤研究(C))、高齢呼吸器疾患患者の退院後を見据えたオーラルフレイル対応支援プログラムの構築(基盤研究(C))に取り組んでいる。

生命基礎科学では、菌類に感染するウイルス(菌類ウイルス)とその宿主となる菌類、そして、菌類が感染する動植物の3者間の相互作用の理解を遺伝学・分子生物学手法を用いて目指している。私たちは2020年に世界で初めてモデル生物アカパンカビに感染する菌類ウイルスを発見し、新たな糸状菌と菌類ウイルスの実験系の構築に成功した(Honda et al. Nature Comm. 2020)。本実験系とアカパンカビの強力な遺伝学の利点を活かし、抗ウイルス応答を制御する決定因子を同定した。また、本決定因子の遺伝子操作により、ウイルス感染による免疫暴走を抑えたり、逆に無感染下で病気にさせたりすることに成功した。本研究成果を応用することで、私たちヒトや有用植物の感染症の原因となる病原糸状菌を、人為的な菌類ウイルスの感染効果により弱毒化させることで、ヒトや有用植物を治療する生物学的防除法の新たな展開が期待できる。

キーワード

アセスメント能力、看護診断、エンドオブライフケア、意思決定、Advance Care Planning: ACP、慢性疾患患者、セルフマネジメント、家族支援、タクティールマッサージ、口腔ケア、アカパンカビ、菌類ウイルス、遺伝学、分子生物学

業績年の進捗状況

<基盤看護学>

・2023年度も継続してAdvance Care Planning: ACPに関する研究を行うとともに、緩和ケアに関する研究を行い、学会発表、論文発表の成果をあげた。加えて、呼吸器疾患患者をはじめとする慢性疾患患者に係わる看護師のACP行動に関する研究も行い、学会等で成果発表を行った。

・健康な成人女性を対象としたタクティールマッサージの効果について検証を継続して実施している。その一部の成果発表を行った。

・高齢者を対象としたタクティールマッサージの睡眠への効果について成果発表を行い、睡眠のセルフマネジメント支援プログラムの開発に着手している。

・COPD患者と共に生活を送る家族を対象に、インタビュー調査を進め家族のニーズの明確化を行っている。

・高齢COPD患者の誤嚥性肺炎予防に向けた口腔セルフケア教育プログラムの効果の検証を進めている。

<生命科学>

・モデル生物アカパンカビを用いて、菌類ウイルス感染により駆動される新たな分子機構を発見し、本機構で重要な役割を担う遺伝子がアスペルギルス症やカンジダ症の原因菌にも保存されていることを確認した。本成果はプレプリントと国際学会で先行発表し、原著論文として投稿中である。

特色等

基盤看護学では、看護学の基礎となる教育を担当している。学部教育では、大学教育入門セミナー、キャリア開発入門、キャリア開発方法、キャリア開発とプロフェッショナルズム、ふくい看護論Ⅱ、疾病論I、臨床栄養学、看護学概論、日常生活援助論、療養生活援助論、看護コミュニケーション論、看護過程論、ヘルスアセスメント論、看護倫理、リスクマネジメント論、看護管理、リサーチマインド、看護学研究概論、看護学研究実践論、日常生活ケア実習、看護展開実習、マネジメント看護学実習、キャリアアップ実習を担当している。大学院教育では、基礎看護学特論、基礎看護学演習、基礎看護学特別研究を担当する他、看護研究、看護理論、看護管理論、看護政策論、コンサルテーション論、ヘルスアセスメントなどの共通科目も担当している。また、専門看護師教育課程の科目も一部担当している。

研究では、科学研究費(基盤研究(C))や学内共同研究費を取得して、継続した研究を行っている。そして研究成果を、これまでInternational Council of Nursing: ICN, American Thoracic Society: ATS, European Respiratory Society: ERS, American Association of Respiratory Care: AARC, Nursing&Healthcare Summit, The 27th annual Congress of Korean Association for Respiratory Care and 17th Ventilator Workshop (20th Anniversary International Congress), Thailand Nursing and midwifery Council World Academy of Nursing Science International Nursing Research Conference: TNMC&WANS等の国際学会で発表している。国内では日本看護研究学会、日本看護科学学会、日本看護診断学会、日本看護学会、日本看護医療学会、日本呼吸ケア・リハビリテーション学会、日本感染症学会等で多数発表している。また、研究内容や研究成果を、大学の講義等で紹介するなど教育にも活かし、研究と教育・実践とのリンケージをはかっている。

生命基礎科学では、看護学科1年次生の「生命科学」、「看護学のための生物学入門」、2年次生の「臨床栄養学」、4年次生の「看護学研究実践論」、および医学科1年次生の「生命現象の科学」の講義(生化学ユニット)と同実習を担当している。

研究では、科学研究費補助金(基盤研究(B)、挑戦的研究(萌芽)、学術変革領域研究(A)(公募班))の助成のもと研究展開している。研究成果の一部はプレプリントとして発表し(<http://dx.doi.org/10.2139/ssrn.4425943>)、本成果に関する原著論文は投稿中である。また、32nd Fungal Genetics Conference(California, USA)で口頭発表した(招待講演)。医学科学生の研究室配属も受け持ち、医学・看護学科の基礎科学教育とともに高水準の基礎科学研究を推進している。

本学の理念との関係

福井大学では、「格致によりて 人と社会の未来を拓く」という理念を掲げ、学術と文化の拠点として、高い倫理観のもと、人々が健やかに暮らせるための科学と技術に関する世界的水準での教育・研究を推進し、地域、国及び国際社会に貢献し得る人材の育成と、独創的かつ地域の特徴に鑑みた教育科学研究、先端科学技術研究及び医学研究を行い、専門医療を実践することを目的及び使命としている。

基盤看護学では、これらに基づき、研究とEBNIに基づいた教育に力を入れている。研究面でも、睡眠障害を有する子どもとその親が健やかに暮らすための方法として、タクティールマッサージを用いたケアの評価を行うとともに、慢性疾患を抱えた高齢者の健康維持のための教育プログラムを構築し、地域の住民や高齢者の健康増進に寄与している。また、慢性疾患患者の意思決定行動を含むセルフマネジメント状況をもとにした効果的看護介入方法の検討により、看護の質向上に寄与することも期待できる。

生命基礎科学は世界的に高水準の基礎科学研究を推進している。具体的には2020年に発表したNature姉妹紙の論文は(Honda et al. Nature Comm. 2020)、本紙のFeatured articlesとして紹介された。現在、世界に先駆けて構築したモデル生物アカパンカビを用いた菌類ウイルス感染系の利点を活かし、菌類ウイルスと宿主アカパンカビの関係を深く理解し、本関係を応用して先端科学技術・医学研究に発展させることを目指している。

3. 研究実績

区分		編数		インパクトファクター(うち原著のみ)	
		2017~2022年分	2023年分	2017~2022年分	2023年分
和文原著論文	ファーストオーサー	12	4	—	—
	コファーストインクオーサー	2	1	9.292(9.292)	0(0)
	その他	2	1	9.292(9.292)	0(0)
	合計	3	0	9.902(9.902)	0(0)
	合計	5	1	19.194(19.194)	0(0)

(A) 著書・論文等

(1) 英文: 著書等

a. 著書

b. 著書(分担執筆)

c. 編集・編集・監修

(2) 英文：論文等

a. 原著論文（審査有）

b. 原著論文（審査無）

23110020 Shinji Honda, Ayumi Yokoyama, Nobuhiro Suzuki: RNA Editing of Genomic Neighbors Controls Antiviral Response in Fungi. *Sneak Peak*, 59, 20230426, DOI: 10.2139/ssrn.4425943

c. 原著論文（総説）

d. その他研究等実績（報告書を含む）

e. 国際会議論文

23110021 R. Tonami, M. Sato, K. Kobayashi: Feelings of Family Members of Patients with Chronic Respiratory Disease Before and After the Introduction of Home Oxygen Therapy, 16th International Family Nursing Conference, 20230620

23110022 T.Hasegawa, M. Kobayashi, Y. Fujita, Y. Uehara, K. Kitano, R. Tonami, Y. Demura: Nurses' inter-professional work competences and related factors including difficulties providing palliative cares, *Nursing Trends 2023 Conference Abstract*, 202304

(3) 和文：著書等

a. 著書

b. 著書（分担執筆）

c. 編集・編集・監修

(4) 和文：論文等

a. 原著論文（審査有）

23110023 牧野富美枝, 長谷川智子, 梅田尚子: 糖尿病患者に携わる看護師のアドバンス・ケア・プランニングにおける行動意図と影響要因の明確化, *臨床倫理*, 12, 5-14, 202403, DOI: doi.org/10.34329/jce.12.0_5

23110024 上原 佳子, 長谷川 智子, 北野 華奈恵, 磯波 利圭, 出村 佳美: 成人女性を対象としたタクティールマッサージの生理的および心理的指標によるストレスおよび不安の緩和効果の検証, *日本看護医療学会雑誌*, 25(2), 13-19, 20231231

23110025 小林 美貴, 藤田 結香里, 長谷川 智子: 緩和ケアチームのコンサルティとなる看護師の緩和ケアにおける困難感の実態と関連する要因, *日本エンドオブライフケア学会誌*, 20231228

23110026 小林 美貴, 藤田 結香里, 長谷川 智子: 緩和ケアチームのコンサルティとなる看護師の緩和ケアにおける困難感の実態と関連する要因, *日本エンドオブライフケア学会誌*, 20231228

b. 原著論文（審査無）

c. 総説

d. その他研究等実績（報告書を含む）

e. 国際会議論文

(B) 学会発表等

(1) 国際学会

a. 招待・特別講演等

23110027 T.Hasegawa, M. Nuesing Education and Nursing Practice in Respiratory Care in Japan, 60th World Nursing Education and Nursing Practice Congress, 202308

23110028 S. Honda, A. Yokoyama, N. Suzuki: RNA Editing of Genomic Neighbors Controls Antiviral Response in *Neurospora crassa*, 32nd Fungal Genetics Conference, Pacific Grove, 20240316

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

23110029 Hasegawa, T., Kobayashi, M., Fujita, M., Uehara, Y., Kitano, K., Tonami, R., Demura, Y.: Nurses' inter-professional work competences and related factors including difficulties providing palliative cares., *Nursing Trend 2023*, 20230410

d. 一般講演（ポスター）

23110030 T.Hasegawa, M. Kobayashi, Y. Fujita, Y. Uehara, K. Kitano, R. tonami, Y. Demura: Nurses' inter-professional work competences and related factors including difficulties providing palliative care, *Nursing Trends 2023*, 202304

23110031 R. Tonami, M. Sato, K. Kobayashi: Feelings of Family Members of Patients with Chronic Respiratory Disease Before and After the Introduction of Home Oxygen Therapy, 16th International Family Nursing Conference, 20230621

e. 一般講演

f. その他

(2) 国内学会（全国レベル）

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

23110032 北野 華奈恵, 長谷川 智子, 羽根田 洋: 実習プラットフォーム「F.CESS Nurse」の臨地実習への導入, 第20回日本循環器看護学会学術集会, 20230916

c. 一般講演（口演）

業績一覧

23110033 出村 佳美, 長谷川 智子, 上原 佳子, 北野 華奈恵, 礪波 利圭, 石塚 全: 高齢COPD患者の口腔の健康に対する関心と口腔ケア行動の関連及び認識, 第33回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会, 20231202

d. 一般講演 (ポスター)

23110034 北野 華奈恵, 長谷川 智子, 上原 佳子, 礪波 利圭, 出村 佳美, 四谷 淳子: 認知症高齢者の睡眠に対するタクティールケアの効果の検証, 第43回日本看護科学学会学術集会, 20231210

23110035 高野 智早, 児玉 麻衣子, 椿 貴佳, 埴瀬 里奈, 清水 薫, 濱田 知花, 牧野 路子, 小林 美貴, 浦井 真友美, 柴原 勇治, 鍋内由香里, 廣野 靖夫: 大学病院の特性に応じた適切な意思決定支援体制整備に向けた取り組み, 第28回日本緩和医療学会学術大会, 20230630

23110036 埴瀬 里奈, 児玉 麻衣子, 椿 貴佳, 高野 智早, 清水 薫, 濱田 知花, 牧野 路子, 小林 美貴, 浦井 真友美, 柴原 勇治, 鍋内由香里, 廣野 靖夫: 鎮静開始に関する自施設の現状と課題, 第28回日本緩和医療学会学術大会, 20230630

e. 一般講演

f. その他

(3) 国内学会 (地方レベル)

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演 (口演)

d. 一般講演 (ポスター)

e. 一般講演

f. その他

(4) その他の研究会・集会

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

23110037 北野 華奈恵: 大学教育と臨床現場をシームレスにつなげるICT活用, 看護教育の現場 オンラインセミナー, 20230514

c. 一般講演 (口演)

23110038 本田 信治: 非ドメイン型バイオポリマーを介した菌類ウイルス・宿主間の特殊な共生関係, 第3回「非ドメイン生物学」領域班会議, 20230911

d. 一般講演 (ポスター)

23110039 本田 信治: 山火事の熱を検知し、シグナル変換する仕組み, 第3回「非ドメイン生物学」領域班会議, 20230911

23110040 本田 信治: モデル生物アカバシカビを用いた植物病原糸状菌とウイルスの相互作用の包括的解析, 岡山大学資源植物科学研究所 令和4年度共同研究成果発表会, 20240227

23110041 中根 逸男, 本田 信治: 菌類のミトコンドリアに存在するレトロプラスミドは何者なのか?, 第3回「非ドメイン生物学」領域班会議, 20230911

e. 一般講演

f. その他

(C) 特許等

区分	内容 (発明の名称)	発明者又は考案者
----	------------	----------

(D) その他業績

4. グラント取得

(A) 科研費・研究助成金等

区分	プロジェクト名	研究課題名	代表者名	分担者名	研究期間	金額 (配分額)
区分	研究種目	課題名	代表者名	分担者名	研究期間	金額 (配分額)
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究 (C)	タクティールケアを活用した高齢者の睡眠セルフマネジメント支援プログラムの構築	北野 華奈恵	長谷川 智子, 上原 佳子, 礪波 利圭, 出村 佳美, 小林 美貴	20230401-20270331	¥1, 820, 000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究 (C)	高齢者の睡眠に対するタクティールケアの効果の検証	北野 華奈恵		20180401-20240331	¥0
文部科学省科学研究費補助金	挑戦的研究 (萌芽)	子囊菌門の糸状菌に保存された生殖期特異的ウイルス除去機構を担う因子群の同定	本田 信治		20220401-20250331	¥2, 210, 000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究 (B)	宿主アカバシカビの抗ウイルス免疫暴走化機序の解明	本田 信治	鈴木 信弘	20210401-20240331	¥5, 720, 000
文部科学省科学研究費補助金	学術変革領域研究 (A)	非ドメイン型バイオポリマーを介した菌類ウイルス・宿主間の特殊な共生関係	本田 信治		20220401-20240331	¥4, 160, 000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究 (B)	宿主アカバシカビの抗ウイルス免疫暴走化機序の解明	本田 信治	鈴木 信弘	20210401-20240331	¥5, 720, 000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究 (C)	高齢者の睡眠に対するタクティールケアの効果の検証	北野 華奈恵		20180401-20240331	¥0

業績一覧

文部科学省科学研究費補助金	基盤研究 (C)	COPD患者のセルフマネジメント能力を支援する家族支援プログラムの検証	礪波 利圭	長谷川 智子, 上原 佳子, 北野 華奈恵, 出村 佳美, 藤田 結香里, 小林 美貴	20220401-20260331	¥650, 000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究 (C)	タクティールケアを活用した高齢者の睡眠セルフマネジメント支援プログラムの構築	北野 華奈恵	長谷川 智子, 上原 佳子, 礪波 利圭, 出村 佳美, 小林 美貴	20230401-20270331	¥1, 820, 000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究 (C)	高齢のCOPD患者の誤嚥性肺炎予防に向けた口腔セルフケア教育プログラムの検証	出村 佳美		20190401-20240331	¥0
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究 (C)	高齢呼吸器疾患患者の退院後を見据えたオラルフレイル対応支援プログラムの構築	出村 佳美	長谷川 智子, 上原 佳子, 北野 華奈恵, 礪波 利圭, 小林 美貴	20230401-20270331	¥260, 000
文部科学省科学研究費補助金	挑戦的研究 (萌芽)	子囊菌門の糸状菌に保存された生殖期特異的ウイルス除去機構を担う因子群の同定	本田 信治		20220401-20250331	¥2, 210, 000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究 (C)	長期的なタクティールマッサージによるストレス緩和およびQOL向上効果の検証	上原 佳子	長谷川 智子, 北野 華奈恵, 礪波 利圭, 出村 佳美, 安倍 博	20210401-20250331	¥650, 000
文部科学省科学研究費補助金	学術変革領域研究 (A)	非ドメイン型バイオリマーを介した菌類ウイルス・宿主間の特殊な共生関係	本田 信治		20220401-20240331	¥4, 160, 000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究 (C)	慢性疾患患者の意思決定行動を含むセルフマネジメントと効果的看護教育介入方法の構築	長谷川 智子	出村 佳美, 上原 佳子, 北野 華奈恵, 橋本 容子	20200401-20240331	¥650, 000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究 (C)	慢性疾患患者の意思決定行動を含むセルフマネジメントと効果的看護教育介入方法の構築	長谷川 智子	出村 佳美, 上原 佳子, 北野 華奈恵, 橋本 容子	20200401-20240331	¥650, 000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究 (C)	COPD患者のセルフマネジメント能力を支援する家族支援プログラムの検証	礪波 利圭	長谷川 智子, 上原 佳子, 北野 華奈恵, 出村 佳美, 藤田 結香里, 小林 美貴	20220401-20260331	¥650, 000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究 (C)	高齢のCOPD患者の誤嚥性肺炎予防に向けた口腔セルフケア教育プログラムの検証	出村 佳美		20190401-20240331	¥0
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究 (C)	高齢呼吸器疾患患者の退院後を見据えたオラルフレイル対応支援プログラムの構築	出村 佳美	長谷川 智子, 上原 佳子, 北野 華奈恵, 礪波 利圭, 小林 美貴	20230401-20270331	¥260, 000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究 (C)	長期的なタクティールマッサージによるストレス緩和およびQOL向上効果の検証	上原 佳子	長谷川 智子, 北野 華奈恵, 礪波 利圭, 出村 佳美, 安倍 博	20210401-20250331	¥650, 000

区分	機関名	課題名	研究者名	研究期間	契約金額
共同研究	株式会社Medi-LX、株式会社永和システムマネジメント	医療用ビッグデータを活用した看護教育教材システムの開発における研究	四谷 淳子, 青木 未来, 北野 華奈恵, 川口 めぐみ, 清水 誉子, 内江 希, 五十嵐 行江, 諏訪 万恵, 大杉 拓矢, 伊藤 幸子, 山下 芳範, 清水 康弘, 田中 雅人, 上坂 秀樹	20240305-20250331	¥628, 800
共同研究	株式会社Medi-LX、株式会社永和システムマネジメント	医療用ビッグデータを活用した看護教育教材システムの開発における研究	四谷 淳子, 青木 未来, 北野 華奈恵, 川口 めぐみ, 清水 誉子, 内江 希, 五十嵐 行江, 諏訪 万恵, 大杉 拓矢, 伊藤 幸子, 山下 芳範, 清水 康弘, 田中 雅人, 上坂 秀樹	20240305-20250331	¥628, 800

区分	機関名	課題名	研究者名	研究期間	契約金額
----	-----	-----	------	------	------

(B) 奨学寄附金

受入件数	0
受入金額	¥0

5. その他の研究関連活動

(A) 学会開催等

区分	主催・共催の別	学会名	開催日	開催地
----	---------	-----	-----	-----

(B) 学会の実績

学会の名称	役職	氏名
日本呼吸ケア・リハビリテーション学会	国際化委員会委員	長谷川 智子
福井呼吸ケア研究会	世話人	長谷川 智子
日本看護科学学会	一般会員	長谷川 智子
日本生心理学会	一般会員	上原 佳子
日本生心理学会	一般会員	長谷川 智子
日本呼吸ケア・リハビリテーション学会	北陸支部支部長	長谷川 智子
日本環境感染学会	一般会員	長谷川 智子
日本呼吸ケア・リハビリテーション学会	呼吸ケア指導士認定審議委員会委員	長谷川 智子
日本呼吸ケア・リハビリテーション学会	呼吸ケア指導士認定委員会委員	長谷川 智子
日本がん看護学会	一般会員	長谷川 智子
日本看護協会	一般会員	長谷川 智子

業績一覧

福井呼吸ケア研究会	事務局長	長谷川 智子
日本看護診断学会	査読委員	長谷川 智子
NANDA International	一般会員	長谷川 智子
日本看護医療学会	一般会員	長谷川 智子
日本健康心理学会	一般会員	長谷川 智子
日本呼吸管理学会	一般会員	長谷川 智子
日本看護研究学会	一般会員	長谷川 智子
日本法医学会	一般会員	飯田 礼子
日本DNA多型学会	一般会員	飯田 礼子
日本看護医療学会	一般会員	上原 佳子
日本看護診断学会	一般会員	上原 佳子
日本がん看護学会	一般会員	上原 佳子
日本看護科学学会	一般会員	上原 佳子
日本呼吸ケア・リハビリテーション学会	一般会員	上原 佳子
日本看護研究学会	一般会員	上原 佳子
福井呼吸ケア研究会	世話人	上原 佳子
日本看護科学学会	一般会員	北野 華奈恵
日本看護研究学会	一般会員	北野 華奈恵
日本看護管理学会	一般会員	北野 華奈恵
日本がん看護学会	一般会員	北野 華奈恵
日本呼吸ケア・リハビリテーション学会	一般会員	北野 華奈恵
日本看護医療学会	一般会員	北野 華奈恵
日本看護診断学会	一般会員	北野 華奈恵
日本エンドオブライフケア学会	一般会員	北野 華奈恵
日本看護医療学会	一般会員	礪波 利圭
日本看護科学学会	一般会員	礪波 利圭
日本看護技術学会	一般会員	礪波 利圭
日本慢性看護学会	一般会員	礪波 利圭
日本看護診断学会	一般会員	礪波 利圭
日本家族看護学会	一般会員	礪波 利圭
日本呼吸ケア・リハビリテーション学会	一般会員	礪波 利圭
日本看護医療学会	一般会員	出村 佳美
日本看護研究学会	一般会員	出村 佳美
日本看護科学学会	一般会員	出村 佳美
日本慢性看護学会	一般会員	出村 佳美
日本看護診断学会	一般会員	出村 佳美
日本呼吸ケア・リハビリテーション学会	一般会員	出村 佳美
日本看護研究学会	一般会員	藤田 結香里
日本糖尿病・教育看護学会	一般会員	藤田 結香里
日本看護科学学会	一般会員	藤田 結香里
看護実践学会	一般会員	藤田 結香里
日本口腔ケア学会	一般会員	出村 佳美
福井呼吸ケア研究会	世話人	礪波 利圭
福井県緩和医療研究会	幹事	小林 美貴
日本遺伝性腫瘍学会	一般会員	小林 美貴
日本緩和医療学会	一般会員	小林 美貴
日本がん看護学会	一般会員	小林 美貴
日本エンドオブライフケア学会	一般会員	小林 美貴
日本看護学教育学会	評議員	長谷川 智子
日本呼吸ケア・リハビリテーション学会	代議員	長谷川 智子

(C) 座長

国内学会 (全国レベル)	学会名	氏名
-----------------	-----	----

(D) 学術雑誌等の編集

学術雑誌等の名称	査読・編集	委員長(主査)・委員 の別	氏名	査読編数
福井大学医学系研究雑誌	査読	委員	上原 佳子	1
福井大学医学系研究雑誌	査読	委員	上原 佳子	1

(E) その他

6. 産業・社会への貢献

(A) 国・地域等への貢献

(1) 審議会・委員会・公益法人・会社等への参加状況

区分	機関の名称等	委員会の名称等・役割	氏名	期間
公益法人等	福井県看護協会	認定看護管理者教育運営委員会委員		20230403-20240331
公益法人等	日本看護協会	認定看護師制度委員会委員		20230401-20250331
公益法人等	福井県看護協会	看護基礎教育検討委員会委員		20230401-20240331

(2) 社会人等への貢献及び学校等との連携・協力による活動

区分	活動名・活動内容	主催者・対象者等	氏名
----	----------	----------	----

(B) 国際貢献

国際協力事業

活動名・活動内容	氏名	相手方機関名	役割	期間	活動国名
----------	----	--------	----	----	------

(C) その他業績

(D) 特記事項

業績一覧